



学校教育目標:ともに高め合う きららの子



「地域に信頼され、地域とともにある学校」をめざして

蕪山南小学校  
学校だより

発行 令和7年 1月 第9号

## がんばる力、挑戦する力、「～したい」を育てるには 校長 土屋貴俊

子供たちの学校生活の約6割の時間が授業です。私たち教職員は、授業の中で子供一人一人が自己有用感を感じ、互いの強み弱みを認め合い尊重し合える集団となることを常に願い指導しています。そのために子供が自ら「やってみたい」「調べたい」「考えてみたい」「自分の思いを伝えたい」「友達の考えを聴きたい」と思えるような授業展開となるようICT機器等を活用しながら進めています。

12月には学校評価にご協力いただきありがとうございました。子供たちや保護者の皆様からいただいた結果について教職員で分析し、次年度の教育課程に生かすために話し合っているところです。その中で上記のような「～したい」という思い(自己実現欲求)を抱き実行するエネルギーが不足している子供が見られるということが話題になりました。



アメリカの心理学者マズロー(1908～1970年)は、人間の基本的欲求を左図のように示し、上位の欲求は下位の欲求がある程度満たされることによって生じるとしています。

人間の欲求の一番のベースとなっているものが「生理的欲求」です。生存に欠かせない本能的な欲求で、主に食事や睡眠、排泄に関する欲求が相当します。

次の「安全の欲求」は、安心安全な状態で安定的な日々を過ごしたいという欲求です。良好な健康状態を維持できるようにしていくことが大切になってきます。

そして、「社会的欲求」は、家族や学級などの集団に所属し、安心感を得たいという欲求です。「安全の欲求」が満たされると現われる欲求です。ただ、所属しているという事実だけでなく自分がみんなのために役立っているという実感を味わうことで高まっていきます。

さらに、「承認欲求」は、周囲の人から認められたい、尊敬を得たいという欲求で、社会的欲求が満たされると現れ、責任ある仕事を与えられることで満たされていきます。

最上位の「自己実現欲求」は、自分の夢や目標に向かってがんばりたいという欲求です。各欲求が満たされることで自分から「～したい」という思いをもつことができます。

2学期の終業式では、子供たちに「早寝早起き朝ご飯」の大切さについて話しました。10月の学校便りでお伝えしましたが、「しっかり寝た子」「朝食をしっかり食べてきた子」は、情緒的に安定し学習に前向きに取り組めます。逆に前日に習い事等で寝不足になり身体が疲れていると、やる気が出なかったり、友達とトラブルになったりすることがあります。学校と家庭や地域が連携し、子供たちの欲求(願い・思い)を満たしていける環境をつくることで、子供たちの「～したい」という思いが育まれるものと考えます。新たな年となり子供たちが新たな一歩を踏み出せるようにご協力をお願いします。